

平成28年度 一般会計補正予算

1億9,673万3千円を減額

総額 72億5,146万7千円

補正予算の主な内容は、平成28年度の各事業実績見込み等による不用額の合計と追加補正分の差引で1億9,673万3千円の減額となった。

歳出において増額となった主な事業は次のとおりである。

事項別歳出予算名	内 容	金額
商工費	道の駅「アウトドア」交流拠点整備 設計管理委託料・工事請負費等	1,510万2千円
消防費	災害対策基金積立金	8,700万円
社会教育費	地方創生拠点整備委託料	2,160万円
社会福祉費	国民健康保険事業会計繰出金	567万1千円

特別会計補正予算

会 計 名	追加・減額	歳入歳出予算総額
国民健康保険事業会計	1億582万9千円減額	16億7,193万3千円
介護保険事業会計	6,389万8千円減額	14億8,154万2千円
特別養護老人ホーム事業会計	1,084万4千円減額	5億1,437万2千円
簡易水道事業会計	※増減なし	1億7,237万8千円
下水道事業会計	1,530万円減額	9,191万7千円
後期高齢者医療事業会計	349万円減額	1億4,606万2千円
和水町病院事業会計（収益的収入及び支出）	3,465万円減額	9億5,066万7千円

※施設管理費3,490万1千円を繰越明許費補正として追加

平成29年度 予算総額

116億2,103万9千円を可決

平成29年
3月
定例議会
報告

各会計当初予算の状況

会 計 名		当 初 予 算 額		増 減 額
		平成29年度	平成28年度	
一般会計		64億5,263万7千円	64億7,030万円	△1,766万3千円
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	18億4,074万2千円	17億8,160万9千円	5,913万3千円
	介護保険事業会計	15億527万6千円	15億1,882万5千円	△1,354万9千円
	特別養護老人ホーム事業会計	4億8,954万8千円	5億1,349万9千円	△2,395万1千円
	簡易水道事業会計	6,373万8千円	1億5,132万円	△8,758万2千円
	下水道事業会計	7,604万4千円	1億988万7千円	△3,384万3千円
	特定地域生活排水処理事業会計	1億113万2千円	1億672万7千円	△559万5千円
	春富財産区特別会計	28万1千円	28万1千円	0円
	後期高齢者医療事業会計	1億5,020万円	1億4,941万3千円	78万7千円
	和水町病院事業会計 （収益的収入及び支出）	9億4,144万1千円	9億7,880万6千円	△3,736万5千円
	計	51億6,840万2千円	53億1,036万7千円	△1億4,196万5千円
合 計		116億2,103万9千円	117億8,066万7千円	△1億5,962万8千円

3月定例会は、3月8日から17日までの10日間の会期で開催された。町長の行政報告及び施政方針、28年度補正予算8件、29年度当初予算10件、条例関係3件、その他1件の計22件が提案され、原案どおり承認可決された。

一般会計当初予算では、新規事業として、主に、旧春富小プール解体事業、乗り合いタクシー事業、学校統合推進（菊水中央小及び菊水中の耐震改修）事業、小中学校エアコン導入、金栗四三氏生家の購入、和水町総合グラウンド周辺整備事業などが含まれている。

一般質問は9名が登壇し、財政健全化に向けた町の考えについてや、地方創生についてなど、提言も含めさまざまな質問がなされ、また、各事業における改善点など厳しく指摘する場面も見られた。

議員提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
	その他	閉会中の継続審査について（総務文教常任委員会、厚生常任委員会）	原案決定
	その他	閉会中の継続調査について（各委員会）	〃
	その他	議員派遣について	〃

3月
定例会

賛否一覧表

○は賛成 ×は反対

議 案		議員名	生山敬之	森潤一郎	蒲池恭一	豊後力	荒木政士	松村慶次	小山 曉	庄山 忠文	荒木拓馬	池田龍之介	杉村幸敏	笹 賢吾	高 泰廣	杉本和彰
議案第14号	平成29年度 和水町一般会計予算		○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	※
議案第17号	平成29年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

※賛否がわかれたものだけを掲載しています。掲載している議案のほかは全員賛成です。

賛成討論

小山 曉・荒木 政士

反対討論

杉村 幸敏・蒲池 恭一

陳 情 等 の 審 査 結 果

こうなりました！皆さんからの請願・陳情

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
480	平成27年3月2日	合併特例債の適用期間の再延長を求めることについて（お願い）	継続審査	総務文教常任委員会
312	平成28年11月17日	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情書	〃	厚生常任委員会
313	平成28年11月17日	「介護保険制度の見直し」と「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情書	〃	厚生常任委員会
314	平成28年11月17日	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情	〃	厚生常任委員会

3 月 議 会 議 案 審 議

採 決 結 果

条 例： 3件
予 算： 18件
人 事： 1件
計 22件

町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第3号	条 例	和水町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	条 例	和水町個人情報保護条例の一部改正について	〃
議案第5号	条 例	和水町税条例等の一部改正について	〃
議案第6号	補正予算	平成28年度 和水町一般会計補正予算（第8号）	〃
議案第7号	補正予算	平成28年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第8号	補正予算	平成28年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第9号	補正予算	平成28年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第4号)	〃
議案第10号	補正予算	平成28年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第11号	補正予算	平成28年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第12号	補正予算	平成28年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第13号	補正予算	平成28年度 和水町病院事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第14号	当初予算	平成29年度 和水町一般会計予算	〃
議案第15号	当初予算	平成29年度 和水町国民健康保険事業会計予算	〃
議案第16号	当初予算	平成29年度 和水町介護保険事業会計予算	〃
議案第17号	当初予算	平成29年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計予算	〃
議案第18号	当初予算	平成29年度 和水町簡易水道事業会計予算	〃
議案第19号	当初予算	平成29年度 和水町下水道事業会計予算	〃
議案第20号	当初予算	平成29年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計予算	〃
議案第21号	当初予算	平成29年度 和水町春富財産区特別会計予算	〃
議案第22号	当初予算	平成29年度 和水町後期高齢者医療事業会計予算	〃
議案第23号	当初予算	平成29年度 和水町病院事業会計予算	〃
同意第1号	人 事	教育委員会委員の任命について	原案同意

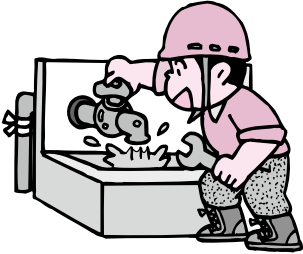
5 Nagomi vol.42

Nagomi vol.42 4

限られた予算で 最大限の効果を！

平成29年度 特別会計当初予算

総 額：51億6,840万2千円

国民健康保険事業  18億4,074万2千円	介護保険事業  15億527万6千円	特別養護老人ホーム事業  4億8,954万8千円
簡易水道事業  6,373万8千円	下水道事業  7,604万4千円	特定地域生活排水処理事業  1億113万2千円
春富財産区  28万1千円	後期高齢者医療事業  1億5,020万円	公営企業会計 和水町病院事業  9億4,144万1千円



※自主財源とは
地方公共団体が自主的に
収入できる財源
依存財源とは
国や県の意思により定め
られた額を交付され
たり、割り当てられたりす
る収入

平成29年度 一般会計当初予算

総 額：64億5,263万7千円

歳入予算			
自主財源	11億5,039万円	依存財源	53億224万7千円
町税	8億1,869万2千円 12.7%	地方交付税	32億3,574万8千円 50.1%
分担金・負担金	6,183万5千円 1.0%	地方譲与税・他交付金	2億9,327万4千円 4.5%
使用料・手数料	4,868万3千円 0.8%	国庫支出金	5億5,847万7千円 8.7%
繰入金	881万8千円 0.1%	県支出金	3億9,634万8千円 6.1%
繰越金	1億8,278万2千円 2.8%	町債	8億1,840万円 12.7%
財産収入・寄付金・諸収入	2,958万円 0.5%		

歳出予算			
議会費  8,433万円 (1.3%)	総務費  9億318万2千円 (14.0%)	民生費  18億5,296万3千円 (28.7%)	衛生費  5億8,002万6千円 (9.0%)
農林水産業費  2億6,231万8千円 (4.1%)	商工費  1億242万8千円 (1.6%)	土木費  7億1,296万6千円 (11.1%)	消防費  2億5,417万2千円 (3.9%)
教育費  6億9,877万4千円 (10.8%)	災害復旧費  3,255万7千円 (0.5%)	公債費  9億5,392万1千円 (14.8%)	予備費  1,500万円 (0.2%)

(%は構成比を表示)

総務文教常任委員会

委員長 荒木 拓馬

総務課

平成29年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ64億5千263万7千円、昨年度比1千766万3千円、率にして0.3%減額。町税や分担金、負担金、町債が増額の見込。

町収入の50%以上を占める地方交付税が合併算定替えの終了に伴う段階的減の影響で前年度比8千425万2千円減の32億3千574万8千円と見込まれる。新規事業として、旧春富小プール解体事業2千400万円、小点形成事業2千400万円、学校統合推進事業1億3千万円、小中学校エアコン導入事業4千800万円、和水平町総合グラウンド周辺整備で1千400万円が計画されている。

まちづくり推進課
①次期総合計画策定準備
②移動困難な住民の移動手段を確保するためのお出かけ交通の実施③移住、定住対策事業および新規企業の立地促進④行政情報配信システムを活用したモデル公民館に対する行政情報配信の活用⑤地域おこし

協力隊員の移住定住6次産業化に対する活動

税務住民課

町税は償却資産（太陽光発電システム設置等）約3千万円増。

国民健康保険事業会計

一般会計からの繰入は1億1千250万円、保険基金安定制度、出産一時金、国保財政安定化支援事業、事務費に係る繰入額。

後期高齢者医療会計

普通徴収、特別徴収の保険料7千589万円は歳入の約50%、一般会計からの繰入金6千553万円は歳入の約44%を占めている。

学校教育課

町内学校エアコン設置費、学校統合事業費、学校共同調理場費（9千690万円）となっており、総額で5億200万円ほどとなっている。

社会教育課

予算総額として1億9千669万円となっており、公民館費で三加和公民館の屋根防水改修設計工事と調理実習室空調工事で1千400万円が計画されている。

厚生常任委員会

委員長 蒲池 恭一

委員会が所管している健康福祉課・特別会計の介護保険事業会計・老人ホーム事業会計・和水平病院事業会計について報告を行う。

健康福祉課は、福祉係・障害福祉係・子ども家庭係・保健予防係・地域包括支援係・介護保険係・神尾保育園の7係で健康福祉に関する業務を行っている。民生費では、18億5千296万3千円で、昨年度より6千255万6千円の減額となっており、要因としては、特別会計への繰り出し金等の減額によるものである。児童福祉費の中では、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学1年生～3年生を対象とした、放課後児童健全育成事業（学童）を町が通年で実施し、さらなる子育て環境の充実に図られる。

介護保険事業会計は、15億527万6千円で、昨年度より1千354万9千円の減額となっている。要因としては、介護予防を目的とした54地区公民館で実施している「お茶の間筋トレ体操」も介護の重症化を和らげ、減額に

寄与したものと捉えている。

老人ホーム事業会計では、一般会計からの繰り入れ金は2千567万3千円、昨年度より3千926万3千円の削減となっているが、さらなる削減が必要だと考える。

また、事業収益に対する人件費の割合が依然として高い状況にあり、経営指標から見て人件費の削減が急務である。

和水平病院事業会計では、収益的収入及び支出は9億4千144万1千円、昨年度より3千736万5千円の減額となっている。入院収益を入院患者数、年間2万5千人と見込み5億1千466万1千人、外来収益を外来患者数、年間2万6千と見込み1億7千147万円と予定している。平成29年度から4年間の新公立病院改革プランに基づき、進められるが、病院事業管理者を中心とし、職員一人一人の意識改革を図り、安定した基盤経営、最良の医療を和水平町民に提供されることを期待する。

建設経済常任委員会

委員長 豊後 力

委員会が所管している、一般会計における農林水産業費・土木費・商工費・特別会計の簡易水道事業・下水道事業・特定地域排水事業について、平成29年度当初予算審査報告を行う。

農林水産業費の歳入歳出総額は、2億6千231万8千円となり総予算額に対する構成比は4.1%。主な事業として農業機械等整備補助金として、1千182万8千円（認定農業者12名・営農組織等11組織）、中山間地域直接支払事業に、6千172万1千円（55団体663ha）、青年等就業給付金事業として、2千34万8千円（14名）新たに林業振興治山事業、900万円（久米野地区工事請負費、設計委託費）を計上している。

土木費の歳入歳出総額は、7億1千296万6千円構成比11.1%になる。平成28年度の熊本地震や6月の豪雨による災害で被災した、道路・河川・農地等の復旧に全力で取り組んでいる。この様な中で、行政区

一般質問



生山 敬之 議員

災害時の避難場所について、安全性の確保はできているか

問 2町合併から10年以上が経過しているが、旧町時代から続く行事（イベント等）がそれぞれに存続している。財政面の視点からも費用対効果や持続可能性などを検討し、見直す必要があると考えるが。

答 （町長）それぞれのイベントや行事には「目的」がある。その「目的」が達成されたものについては、それ以上の発展がなければ、廃止も含め検討する必要があるかと思う。

問 類似したイベントが一本化となれば、メリットとして「地域間の交流」というイメージがあると思うが、私はこれからの和水平町に必要なことは「世代間の交流」だと考える。いわゆる二つの町に捉われ過ぎると、どうしても両方のバランスを取ってしまいがちになる。しかし、『多世代の交流を図るため』という視点で見れば、違った発想で議論ができるし、決断もしやすくなると思う。

問 災害時の避難場所について。平成28年度に実施された耐震工事で、町内の5つの体育館において、つり天井の撤去や落下防止等の対策がなされているが、それぞれの施設の安全性の確保はできているか。

答 （町長）ふれあい会館の熊本地震被災による改修工事については、当初、天井パネルを軽量ボードに「全面改修」ということで計画していた。詳細に天井部位を確認したところ、天井裏の空調関係や電気設備の被災が発見されたために途中で工事内容の変更を行い、工事が一旦完了している。

答 （教育長）議会にも工事進捗状況、内容等変更の報告・相談等もなく、当初のとおりと違った内容で工事を進行させてしまい、深く反省してお詫び申し上げる。安全性の確保ができていないか、業者や専門家などに相談をして、その実態を明らかにしていきたい。



グラウンドの整備を 今しなければいけないのか!!

問 昨年12月ウォーキングコース・300メートルトラック等、郡大会をするための予算約200万円を計上(可決済)されたが、間違い無いか伺う。

答 (社会教育課長) 間違い無い。

問 郡大会をすることも大事、町民の皆さん方の健康増進、健康寿命に寄与するためにも必要だと思いを、200万円と言う大事なお金を認めた。今! 実際工事をしており、それを取り壊すことになれば和永町総合グラウンド設計委託料が無駄に成ると思わないのか。

答 (町長) 200万円の応急の修繕、復旧というのは、確かに指摘のとおりである。最終的に土台づくりが終わるのは、2、3年先になるかと思う。その間町民に使うて頂く。

問 当初予算で1千400万円(和永町総合グラウンド設計委託料)を計上しないで、菊水区域学校統廃合(用地・建設費等)に震災の影響等で幾ら掛かるか分からない中、和永町総合グラウンドの方向性をどの様にするのか。

答 (町長) 目的に沿った使用が出来るように進めてまいりたい。

問 全員協議会での説明も悪い、そんな中で一回撤回(和永町総合グラウンド設計委託料1千400万円)頂きたい! 我々議員も200万円に関して認めた責任が有る。全員協議会の中でもう一度議論するべきだと考える。



今後の和永町の財政 どうなる

問 平成28年より算定替えが進んでいるが今後5年、10年間の財政計画はどうなっているか。また、菊水地区の小中学校の改修、特老建築、町総合グラウンド整備等大型予算が今後必要となるが、その計画は。

答 (町長・総務課長) 29年度の予算は64・5億であるが、5年後平成33年においては58億に減少、10年後にはもっと予算縮小をしなければならぬと思う。大型の事業に対しては設計、見積り等がないが、事業費の節減に努めていく。

農就センター存続が、減失か

問 被災した農業就業改善センターの今後の方向性は。また、町民からの存続の声があるが改修するとすれば費用の算出等はあるか。

答 (町長) 平成27年の和永町公共施設等総合管理計画によると、老朽化も進んでおり三加和公民館に集約することで進んでいる。現在耐久度調査を行っており、今後の問題として調査終了後、協議し方向性を相談したいと思う。



ふれあい会館の 耐震改修工事は 大問題ではないか

問 熊本地震を受けて、これまで予算化された町公共施設の耐震改修工事の進捗状況は。

答 (町長) ふれあい会館天井パネル崩壊は空調ダクトが天井裏に設置、設備されておりその空調ダクトの結露により天井パネルが傷んで崩落している可能性が高かった。空調ダクトの結露防止を優先して工事を行った。当初の設計計画とは異なった結果になっていることにお詫びする。

答 (教育長) 菊水中央小と菊水中学校体育館のつり天井は撤去し安全性は確保している。ふれあい会館は基本的に工事内容や工事方法の変更など議員の皆様は工事の進捗状況と工事内容の変更等の報告や相談もしないまま当初通りの工事とは違った内容で工事を進行させてしまい深く反省しお詫びする。

問 この問題は3つあるのではない。設計業者がつり天井や空調ダクト等の確認をせずにどういった耐震改修工事をするのか、正確ではなく見誤っていたこと。2つ目は落札建設業者から工事内容の問題点が出された時に担当職員が勝手に工事内容を変更した。この問題が発生した時に担当課長や教育長、町長に報告されていなかったこと。3つ目は改修工事が正確に終了していないのに建設業者に工事代金約2千600万円が支払われており、あつてはならないこと。大問題ではないか。事実経過を調査して議会に報告すべきだ。

答 (教育長) 最終的に竣工検査の調書も十分見たつもりだが、その辺りが漏れていた。お詫びする。



小中一貫教育について

問 平成27年度、29年度文科省小中一貫教育推進事業指定校「三加和小中学校中間報告会」の成果について、教育長の所見を伺いたい。

答 (教育長) 研究の成果として、義務教育9カ年を通して、三加和小中学校すべての教職員の意識の高まりと、そのための組織づくりや児童生徒の学力向上、更には互いに励まし合う心など良い人間関係づくりが出来つつあるとの報告を受けている。

問 義務教育9年間を見据えた小中一貫教育(小中併設型)における相互乗り入れ授業(ダブルティーチャー)や小学校段階からの教科担任制の導入、或いは、異学年交流による活性化など、図り知れない学習効果の高まりを期待しているが、学校現場の先生や子ども達の反応はどうなのか伺いたい。

答 (教育長) 小学校の先生が中学校の授業に入り、中学校の先生が小学校の授業をするということ、

昨年12月に行われた県学力調査でも高い得点を積み重ねてきたという良い結果が出ている。

問 今後『施設分離型』として、菊水小中学校の小中一貫教育が待たれているが、効果的に実施するための課題や問題点があるとすれば示してもらいたい。

答 (教育長) 校舎が離れているということ、現在三加和小学校と三加和中学校でやっているやり方をそのまま踏襲することは、非常に難しいと思う。学校間を短時間で子ども達を移動させることは困難であり、同時に移動等の安全確保の問題もある。更には、分離型の場合の先生達の小中学校への乗り入れ授業等にも授業時間の制約等が出てくると思われる。とにかく、距離があるということ課題がいくつかある。

【その他の質問】

- ・地方創生について
- ・公金の管理体制について



町総合グラウンド及び 周辺整備について

問 (1)町総合グラウンド周辺を利用した菊水地区学校統廃合事業は中止となったが目的変更には「都市開発計画法」と「林地開発許可制度」の2法があり法律上の問題点はないのか伺う。又、用途変更後の進展状況はどうか伺う。

現在までの造成費は10億3千600万円余りとなっている。

答 (社会教育課長) 「林地開発許可制度」関係では、造成に伴う林地開発行為に対して、県担当課の現地確認は終り工事完了報告書づくりを進めている。

問 現在までの造成費用についても伺う。

答 (町長) 町総合グラウンド及びその周辺の造成地については、都市開発計画法に基づく小・中学校建設を開発目的として大規模開発の許可を取得し、開発造成してきたところだ。今回の用途変更に伴い都市開発計画法の開発目的変更の必要がある。本開発許可の期限は平成30年3月とされている。目的変更についても基本的には「原状復帰」までで本格的な活用については、そのあと関係者や町民の声を聞きながら周到に考えたい。

答 (町長) 町総合グラウンド及びその周辺の造成地については、都市開発計画法に基づく小・中学校建設を開発目的として大規模開発の許可を取得し、開発造成してきたところだ。今回の用途変更に伴い都市開発計画法の開発目的変更の必要がある。本開発許可の期限は平成30年3月とされている。目的変更についても基本的には「原状復帰」までで本格的な活用については、そのあと関係者や町民の声を聞きながら周到に考えたい。

答 (町長) 町総合グラウンド及びその周辺の造成地については、都市開発計画法に基づく小・中学校建設を開発目的として大規模開発の許可を取得し、開発造成してきたところだ。今回の用途変更に伴い都市開発計画法の開発目的変更の必要がある。本開発許可の期限は平成30年3月とされている。目的変更についても基本的には「原状復帰」までで本格的な活用については、そのあと関係者や町民の声を聞きながら周到に考えたい。



設計変更という隠れ蓑で行われた確信犯的行為では！

問 ふれあい会館つり天井撤去工事について伺う。設計変更に至った経緯、設計変更をしなければならぬと判断した時期はいつ、当初のつり天井撤去予定面積と予定額は幾ら、設計変更後のつり天井撤去、補修面積は、予定額は幾らになったのか。設計変更を依頼した設計会社はどこなのか。

2千592万5千856円です。

問 足場を組んだ後、つり天井は大丈夫と誰が判断したのか。

国県の補助事業に対して3割以上の変更は協議、認めない、暗黙の了解で運用と聞いたが。

答 (建設課長) 国県の補助事業については、変更する場合は国県に承認を得なければならぬ。

問 自治体の運営は、地方自治法、条例、規則等により、憲法、法律等の準用によりなされていると認識をしている。

答 (総務課長) おっしゃる通りだと思ふ。

問 工種から逸脱するような設計変更は、設計変更じゃなく別工事ではないか？町道真弓線問題が活かされていない。設計変更という隠れ蓑で行われた確信犯的行為では。

答 (町長) 従来の町民総合グラウンドの現状復旧を考えている。今後の整備については、関係機関、関係団体、町民の意見を参考に、十分な協議、検討を行い整備を行うっていく。

問 金栗マラソン大会の今後の方性をどう考えるか。

答 (町長) 出来れば金栗四三生家付近を通るコース、又、20キロコースの期待も抱いている。

問 金栗四三遺品の管理状況はどうなっているのか伺う。

答 (町長) まずは練習拠点の環境整備それから指導者の育成と奨励そして支援、次にスポーツを通じて頑張った人への顕彰も大事な事である。



財政健全化適正規模は？ プライマリーバランスは 整っているのか!!

問 地方交付金が減額されるなか、町政運営も企業感覚が必要不可欠。5年、10年先を見据えた時、財政適正規模をどのように示すのか。

すべきは、巨額の施設改修費が見込まれること。

問 少子高齢化、人口減少も加速しているなか、和水町の地域性を存分にアピールし、企業誘致や温泉を活用した農家民泊等、観光資源の活用等の考えはないか。

答 (町長) 合併特別交付税の算定変えが始まり、単年度別に見ると非常に厳しい財政事情にある。自主財源に乏しい本町として、抜本的な歳費削減を目指す必要があると思慮している。

答 (町長) 和水町の観光資源を有効活用し地域性に沿った事業展開を進める。

答 (総務課長) 企業の経営感覚の観点から、適正財政規模は5年後、58億円位の規模を目指したい。

答 (まちづくり推進課長) 都会からの田園回帰が今、大きな話題、条件整備を成しながら人口増につなげる。

問 我が町における標準財政規模はいか程と認識されているのか。

答 (商工観光課長) 三加和温泉郷を拠点に宿泊等の環境整備に取り組む。

答 (町長) 有する資産を正當に評価し、価値あるものは最大限に活用、そうでないものは切り離していく。

問 マラソンの父、金栗四三氏を輩出した和水町を、スポーツの拠点として、地域活性化やビジネスの創出を考えるべきではないか。



金栗四三生家購入 その活用法は？

問 総合グラウンドの林地開発許可制度に関する開発行為は終了していると思うが、今後の手続きはどうなるのか。又、都市計画法に関する事業期間の期限延長はできないのか伺う。

ウンダの現状復旧を考えている。

答 (町長) 県からの視察もあり完了届提出に向けての準備をするよう助言があった。開発期間の延長は可能であるが、開発目的変更の必要が判明しており用途の変更申請を進めるほうが適切であると考える。完了届の添付資料として現状での測量をし、排水計画、防災対策としての図面が必要である。開発目的を運動施設に変更することから、測量設計が必要であることから、今回の予算が組まれている。

問 住民がスポーツを続けることの出来る環境の整備について伺う。

答 (町長) まずは練習拠点の環境整備それから指導者の育成と奨励そして支援、次にスポーツを通じて頑張った人への顕彰も大事な事である。

問 金栗四三遺品の管理状況はどうなっているのか伺う。

答 (町長) 出来れば金栗四三生家付近を通るコース、又、20キロコースの期待も抱いている。

問 金栗四三遺品の管理状況はどうなっているのか伺う。

答 (町長) まずは練習拠点の環境整備それから指導者の育成と奨励そして支援、次にスポーツを通じて頑張った人への顕彰も大事な事である。

問 金栗四三遺品の管理状況はどうなっているのか伺う。

答 (町長) 従来の町民総合グラウンドの現状復旧を考えている。

問 金栗四三遺品の管理状況はどうなっているのか伺う。

議会報告会の開催

～ 皆さんと身近な議会へ ～

和水町議会運営委員長

小山 暁

和水町議会主催の平成28年度議会報告会を3月27日(月)と29日(水)の2日間、和水町中央公民館と三加和公民館2会場で開催しました。報告会は、午後7時から9時迄の2時間でしたが、町民の皆さんには、昼間の仕事でお疲れのところにも関わらず延べ40人あまりの参加があり、貴重な意見や要望を出してもらいました。

今回の報告会では、和水町議会改革調査特別委員会から、和水町議会基本条例についての報告と平成29年度和水町予算について、和水町議会総務文教常任委員会・厚生常任委員会・建設経済常任委員会の3つの常任委員会からそれぞれ報告がありました。

菊水会場で出た主な意見・要望の中には『番城グラウンドの当初予算1千400万円の設計委託料が計上されているが、議会は安全性の確認をしたのか?』という意見や『ふるさと納税などの寄付が少ない。』

もつと魅力あるまちづくりを!』といった提言もありました。更には『報告内容がわかりにくい。もつと工夫してもらいたい!』との注文も出ました。

一方の三加和会場では『学童保育の問題』や『三加和地区の上水道計画について』、或いは『町道坂本・上和仁線改良の件』、更には『町立病院の医師確保の問題』など意見や要望、切実な訴えがありました。

その他にも厳しい質問や指摘・要望等、が出されましたが、今後の議会報告会を進める上で、大変参考となる報告会となりました。



走り続けた92年!

日本マラソンの父『金栗四三』

NHK大河ドラマ2019年『いだてん金栗四三』決定!にともない、和水町議会広報委員会では、今後4回シリーズで『走り続けた92年・日本マラソンの父・金栗四三』を連載します。

【その1】

Ⅱ 金栗先生の生い立ちとマラソン人生Ⅱ

金栗先生は、明治24年8月20日、当時玉名郡春富村中林で、父信彦と母シエの間に、8人兄弟の7番目の子として生まれる。四三(しそう)の名前の由来は、父信彦が43才の時に生まれた子だったので、四三と名付けられたという。当時、金栗家は代々のつくり酒屋で有名だったが、父信彦は体が弱かったため、自分の代でつくり酒屋を止めています。

金栗先生も、幼い頃から体が弱かったために、健康には人一倍気を使っていたそうですが、明治30年の春、地元春富村吉地小学校に入学、4年間の義務教育と4年間の玉名北高等小学校(現在の南関第3小学校)を卒業後、引き続き明治38年に県立玉名中学校(現在の玉名高校)に入学されていますが、玉名北高等小学校当時は、春富から今の南関第3小学校までの行き帰り12



玉名中学校(現県立玉名高校)4年生のとき

キロの道をみんな揃って、走って行くのがきまりだったといわれています。その頃の四三少年は、走ることが苦しくて苦しくてたまらなかったそうです。当時着物にカバン、そして弁当をぶらさげて走ったそうです。

当時吉地地区の子どもが中学に進んだのは、はじめてだ

ったといわれています。その頃中学は、県内にはいくつもなかったために、寄宿舎での集団生活だったようですが、四三少年は、土曜日になると玉名から20キロも離れた我が家へ走って帰っていたそうです。そのことが、のちの偉大なマラソンランナーを生みだすきっかけとなったといわれています。

(次号に続く)
文責: 小山 暁

表紙の写真の説明

表紙の大きい写真は第93回箱根駅伝に出場した大学のユニフォームとのぼり旗です。

和水町は「金栗四三翁生誕の町」として、金栗翁を顕彰する様々な活動を行っています。

今回、その顕彰活動の一環として、金栗翁が創設した箱根駅伝をもっと身近に感じてもらうと箱根駅伝出場大学のユニフォームとのぼり旗を展示いたしました。

展示したユニフォームとのぼり旗は、各大学のご厚意によりお借りしているものです。

今年1月29日に開催された和水町親善駅伝大会の際にお披露目され、3月中旬まで展示されました。



四三翁の家族
(前列右から2番目が四三翁。中列左から母シエと父信彦。後列右が長兄)